



ユーザーマニュアル

Smart Data Logger EzLogger Pro

V1.1-2021-12-16

目次

第1章:安全上の予防措置	01
1.1 安全注意事項	01
1.2 図記号	01
第2章:製品概要	02
2.1 製品概要	02
2.2 外観説明	02
2.3 表示灯の説明	05
第3章:設備の設置	07
3.1 包装情報	07
3.2 設備の設置	08
第4章:電気接続	10
4.1 ポートの説明	10
4.2 パワーコンディショナーへの接続	11
4.3 環境モニターとメーターへの接続	13
4.4 PCへの接続	14
4.5 DREDへの接続	15
第5章:LAN EzLoggerPro データのアップロードと機能の設定	16
5.1 LAN EzLogger Proの使用方法	16
5.2 EzLogger Proの設定	17
5.3 プログラムのアップグレード	26
第6章:ウェブサイトの監視	27
6.1 発電所の作成及び設備の追加	27
6.2 発電所の確認	28

第7章:技術仕様	30
第8章:認証と保証	31
8.1 認証マーク	31
8.2 保証書	31
8.3 保証条件	31
8.4 免責事項	31

第1章:安全上の予防措置

1.1 安全注意事項

GoodWe Technologies Co., Ltd. (以下、GoodWeと呼びます)によって製造されたEzLogger Proは、関連する安全規制に厳密に従って設計およびテストされています。ただし、電気・電子機器としての設置・保守時には、以下の安全注意事項を守ってください。不適切な操作は、オペレーターおよび第三者に人身傷害および物的損害を引き起こす可能性があります。

1. 子供がEzLogger Proに近づけないでください。
2. カバーを開けないでください。コンポーネントに許可なく触れたり交換したりすると、怪我やEzLogger Proの損傷を引き起こす可能性があります。この場合、GoodWeはそのような怪我や損傷または品質保証に対して責任を負いません。
3. 静電気は電子コンポーネントに損傷を与える可能性がありますので、静電気を防止するための適切な対策を講じる必要があります。

1.2 図記号

	軽傷または中程度の傷害が発生する可能性があります。
	一般廃棄物として処分することはできません。リサイクルには特別なルートが必要です。
	直立させてください。傾けたり、逆さまにしないでください。
	リサイクル可能
	割れ物注意取り扱い注意
	湿気を防ぐ
	CEマーク
	VCCIマーク
	FCCマーク
	注意事項
	説明

第2章：製品概要



EzLogger Proの外観と機能の概要

2.1 製品概要



EzLogger Proの主な機能の概要

EzLogger Proは、太陽光発電システムの監視・管理プラットフォーム専用のデバイスです。これは、太陽光発電システムのパワーコンディショナー、環境モニター、電気メーター、およびその他の装置のインターフェース集約、データ収集、データストレージ、集中監視、集中保守およびその他の機能を実現します。

2.2 外観説明



EzLogger Proのポートの外観、仕様と機能の概要

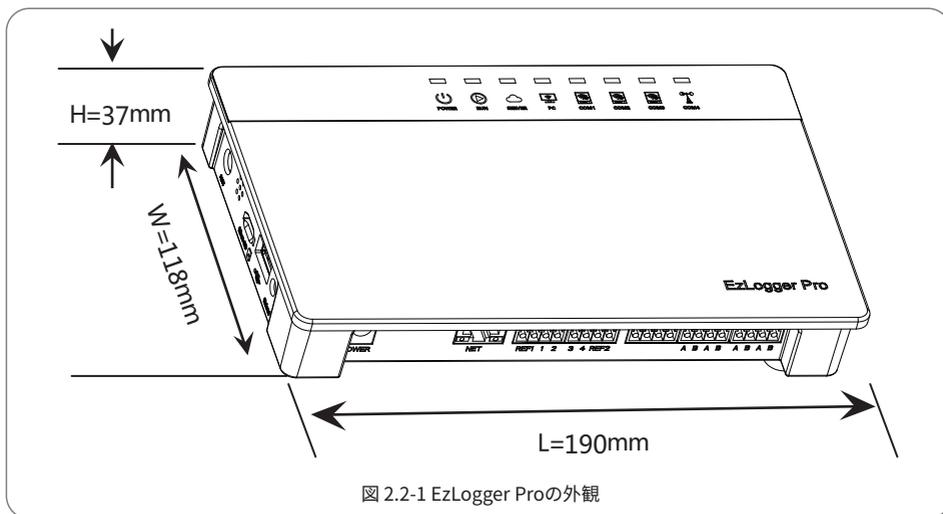
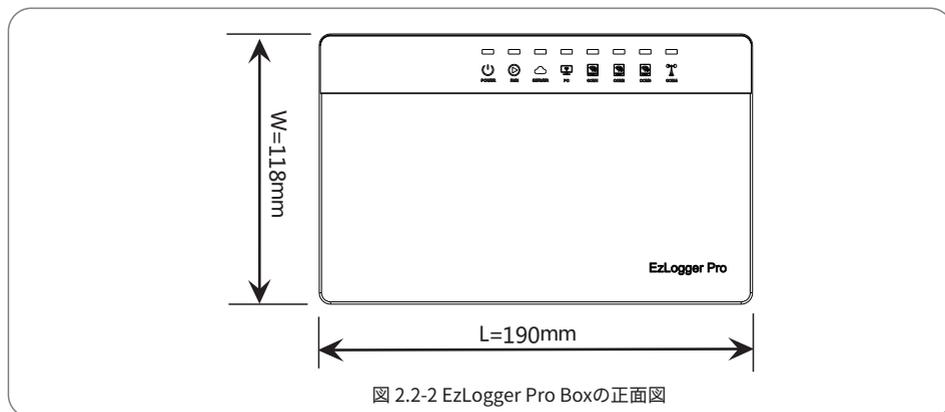
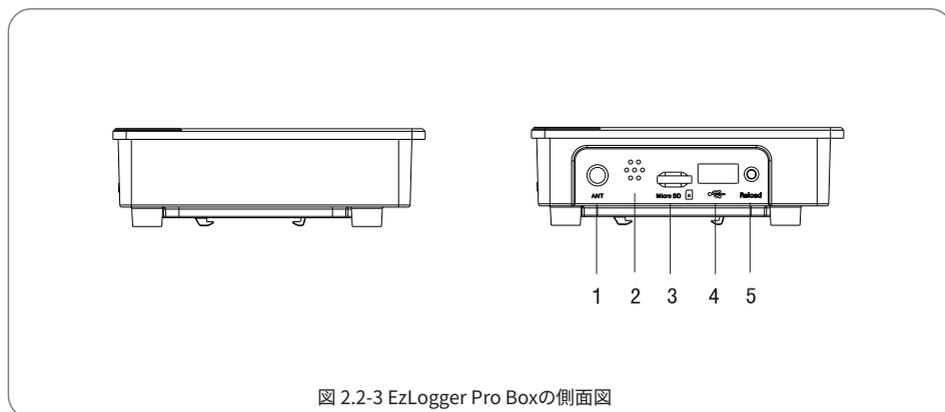


図 2.2-1 EzLogger Proの外観

正面図



側面図



番号	ポート	ポートの説明
1	ANT	予備ポート
2	サウンドアラーム	ブザーサウンドホール
3	マイクロSD	SDメモリーカードスロット
4	USB	USBスロット
5	リロード	出荷時設定へのリセットボタン

背面図

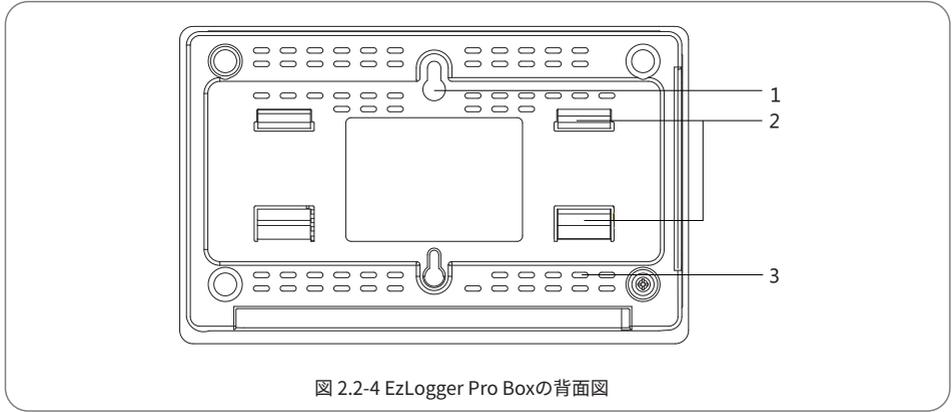


図 2.2-4 EzLogger Pro Boxの背面図

- 1.壁取り付け穴 2.レールクリップ 3.冷却ベント

上面

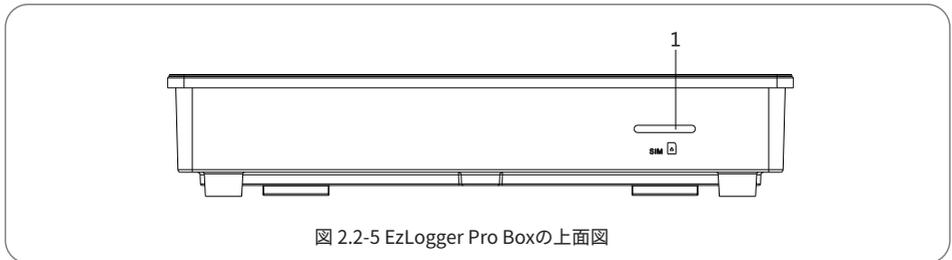
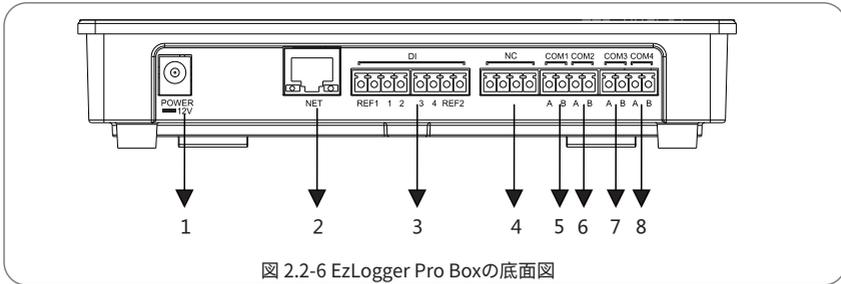


図 2.2-5 EzLogger Pro Boxの上面図

底面



番号	ポート	ポートの説明
1	POWER (電力)	アダプター12VDC入力
2	NET	イーサネットポート
3	DI	DRED/RCR機能ポート
4	NC	予備
5	COM1	パワーコンディショナー用RS485通信ポート1
6	COM2	パワーコンディショナー用RS485通信ポート2
7	COM3	パワーコンディショナー用RS485通信ポート3
8	COM4	出力制御設備と繋がるポート (EzloggerProや環境モニターと接続する事も可能)

2.3 表示灯の説明



LEDインジケータの意味の概要

LEDインジケータは次のとおりです。



図 2.3-1 LEDインジケータの説明図

2.3 LEDパワーコンディショナーの説明

以下のLEDインジケータの説明を参照してください。

ポート	状態	状態説明
POWER (電力)	青いライトオン	電源が入っています
	青いライトオフ	電源なし
RUN (作動中)	青いライトが点滅します (1秒オン/オフ交互)	EzLogger Proが正常に作動しています。
	青いライトがオンまたは オフに続く	EzLogger Proが正常に作動していません。
SERVER (サー バー)	青いライトがオンに続く	EzLogger Proは外部ネットワークサーバーに正しく接続されています。
	青いライトが点滅します (1秒オン/オフ交互)	EzLogger Proはルーターに正しく接続されていますが、外部ネットワーク サーバーには接続されていません。
	青いライトオフ	EzLogger Proネットワークが接続されていません。
PC	青いライトオン	EzLogger ProはコンピュータソフトウェアProMateに接続されています。
	青いライトオフ	EzLogger ProはPCソフトウェアProMateに接続されていません。
COM1	青いライトオン	EzLogger Proによって実際に取得されるパワーコンディショナーの数は、 パラメーター設定と同じです。
	青いライトが点滅します (1秒オン/オフ交互)	EzLogger Proによって実際に取得されたパワーコンディショナーの数がパ ラメーター設定より少なくなっています。
	青いライトが点滅します (1秒オンと3秒オフ交互)	EzLogger Proに従って取得するパワーコンディショナーの数パラメータ設 定が設定されていません。
	青いライトオフ	EzLogger Proによって取得されたパワーコンディショナーはありません。
COM2	青いライトオン	EzLogger Proによって実際に取得されるパワーコンディショナーの数は、 パラメーター設定と同じです。
	青いライトが点滅します (1秒オン/オフ交互)	EzLogger Proによって実際に取得されたパワーコンディショナーの数がパ ラメーター設定より少なくなっています。
	青いライトが点滅します (1秒オンと3秒オフ交互)	EzLogger Proに従って取得するパワーコンディショナーの数パラメータ設 定が設定されていません。
	青いライトオフ	EzLogger Proによって取得されたパワーコンディショナーはありません。
COM3	青いライトオン	EzLogger Proによって実際に取得されるパワーコンディショナーの数は、 パラメーター設定と同じです。
	青いライトが点滅します (1秒オン/オフ交互)	EzLogger Proによって実際に取得されたパワーコンディショナーの数がパ ラメーター設定より少なくなっています。
	青いライトが点滅します (1秒オンと3秒オフ交互)	EzLogger Proに従って取得するパワーコンディショナーの数パラメータ設 定が設定されていません。
	青いライトオフ	EzLogger Proによって取得されたパワーコンディショナーはありません。
COM4	青いライトオン	出力制御或いは環境モニターなどのデバイスとの通信は正常です
	青いライトオフ	出力制御或いは環境モニターなどのデバイスとは接続していません。

第3章:設備の設置



EzLogger Proの包装情報と設置プロセスの概要

3.1 包装情報



パッケージ内のEzLogger Proのアクセサリの概要

EzLogger Proパッケージを開封した後、アクセサリが完全で、明らかな損傷がないかどうかを確認してください。破損や欠品がある場合は、ディーラーにご連絡ください。

アクセサリの配送内容:

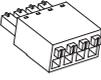
 EzLogger Pro x1	 電源アダプタ x1	 ガイドレール x1
 拡張ネジ x2	 ユーザーマニュアル x1	 配線端子 x4

図 3.1-1 パッケージ内のEzLogger Proのアクセサリの配送内容



電源アダプタのモデルは、輸出先の国の安全規制に従って決定されます。

3.2 設備の設置



EzLogger Proの設置プロセスの概要

3.2.1 設置場所の選択

設置場所を選択する際には、以下の点を考慮してください。

- 1.EzLogger Proの防水保護等級はIP20です。そのため、防水性能はなく、屋内専用です。
- 2.設置方法と設置場所は、EzLogger Proの重量とサイズに適している必要があります。
- 3.設置場所は直射日光を避けて換気してください。周囲温度が-20°C~60°Cの範囲内であることを確認してください。

3.2.2 EzLogger Proの設置

EzLogger Proの設置方法には、卓上設置、壁付け、レール付けの3つがあります。

設置方法 1: 卓上設置



EzLogger Proの落下を回避する為に、EzLogger Proの卓上設置方法を選択してください。EzLogger Proは、ケーブルに触れて信号が途切れるのを防ぐために、ケーブルに触れやすい場所に置かないでください。

設置方法 2: 壁付け

ステップ:

- 1.壁に2つの円形の穴を開けます。2つの円形の穴の間の距離は70mmです。穴径は8mm、ネジ頭は4mm突き出しています。
- 2.EzLogger Proの背面にある壁付け穴をネジに掛けます。

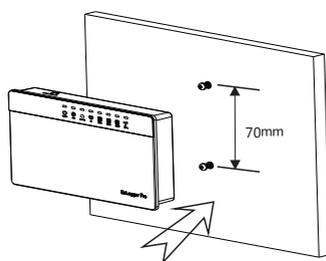


図 3.2.2-1 EzLogger Proの壁付けの概略図

設置方法 3: レール付け

ステップ:

1. 壁に2つの円形の穴を開けます。2つの円形の穴の間の距離は100mmです。穴径は8mm、穴深さは40mmです。

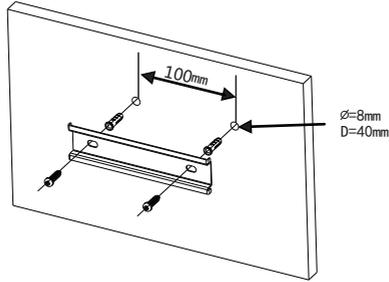


図 3.2.2-2 EzLogger Proのレール付けの概略図

2. ガイドレールを壁に取り付けます。

3. EzLogger Proをガイドレールに取り付けます。

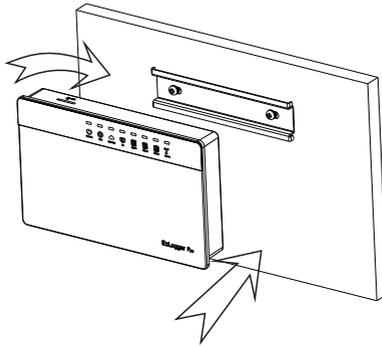


図 3.2.2-3 ガイドレールへのEzlogger Proの設置の概略図

第4章：電気接続



EzLogger Proをパワーコンディショナー、PC、環境モニター、メーター、その他の装置に電氣的に接続する方法の概要

4.1 ポートの説明



パワーコンディショナーと接続するためのEzLogger Proのポートとその機能の概要

以下のEzLogger Proの底面のポートの概略図を参照してください。

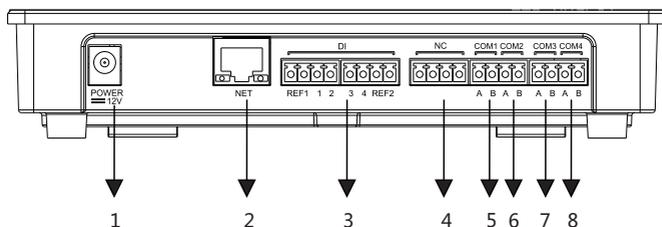


図 4.1-1 Ezlogger Proの底面のポートの概略図

以下のEzLogger Proの底面のポートの説明を参照してください。

番号	ポート	ポートの説明
1	POWER (電力)	アダプター12VDC入力
2	NET	イーサネットポート
3	DI	DRED/RCR機能ポート
4	NC	機能予約済み
5	COM1	パワーコンディショナー用RS485通信ポート1
6	COM2	パワーコンディショナー用RS485通信ポート2
7	COM3	パワーコンディショナー用RS485通信ポート3
8	COM4	出力制御設備と繋がるポート(EzloggerProや環境モニターと接続する事も可能)



1. 以下は、EzLogger Pro DIポートの図です。REF1とREF2はそれぞれ2つのポートを占有します。

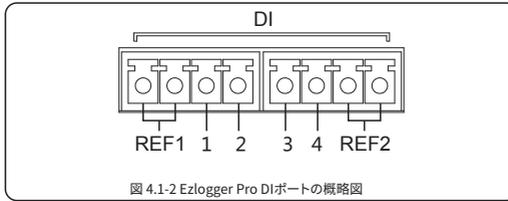


図 4.1-2 EzLogger Pro DIポートの概略図

EzLogger Pro DIポートは、RCRおよびDRED機能と互換性があります。さまざまな機能のポートは次のように定義されています。

	REF1	1	2	3	4	REF2
RCR	+5V	D_IN1	D_IN2	D_IN3	D_IN4	+5V
DRED	RefGen	DRM1/5	DRM2/6	DRM3/7	DRM4/8	Com/DRM0

2.COM1、COM2、およびCOM3はパワーコンディショナーとのみ通信します。COM4は、誤った修正を避けるために、環境モニターおよびその他の装置にのみ接続されています。

3.COM1、COM2、COM3、COM4ポートのAは差動信号+に対応し、Bは差動信号-に対応します。

4.2 パワーコンディショナーへの接続



EzLogger Proをパワーコンディショナーに接続する方法の概要

4.2.1 単一のパワーコンディショナーへの接続



EzLoggerProとパワーコンディショナー間のRS485通信接続モードの概要

パワーコンディショナーはRS485を介した通信のためにEzLogger Proに接続されています。EzLogger Proには、COM1、COM2、COM3の3つのRS485ポートがあります。

EzLogger ProのCOM1、COM2、およびCOM3ポートの図を参照してください。

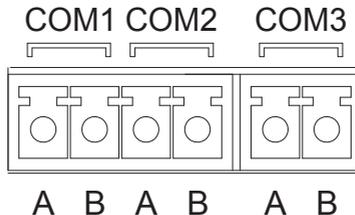


図 4.2.1-1 EzLogger ProのCOM1、COM2、およびCOM3ポートの概略図

COMポートは次のように説明されています。

ポート	記号	説明
COM1	A	RS485A、RS485 差動信号 +
	B	RS485B、RS485 差動信号 -
COM2	A	RS485A、RS485 差動信号 +
	B	RS485B、RS485 差動信号 -
COM3	A	RS485A、RS485 差動信号 +
	B	RS485B、RS485 差動信号 -

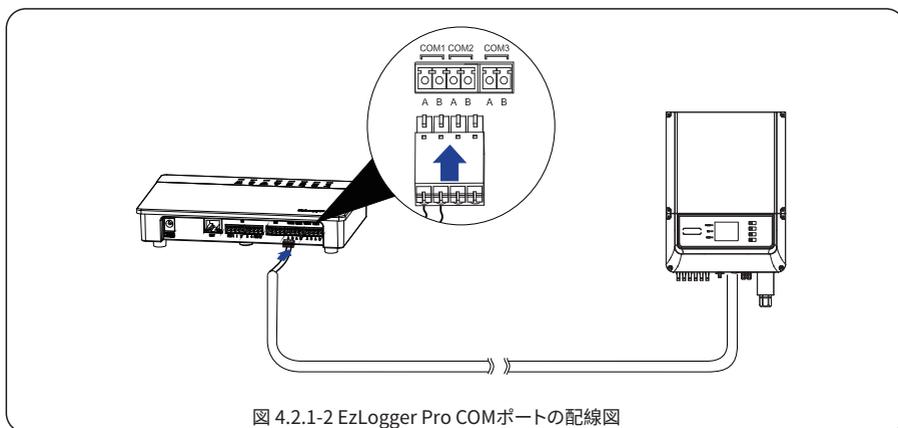


図 4.2.1-2 EzLogger Pro COMポートの配線図

ステップ:

- 適切な長さ(≦1000m)のRS485通信ケーブルを選択します。
- まず、通信ケーブルの両端の絶縁層を剥がします。
- 次に、通信ケーブルの一端をEzLogger Pro COMポートの端子Aに接続し、もう一端をEzLogger Pro COMポートの端子Bに接続します。
- もう一方の側はパワーコンディショナーに接続する必要があります。パワーコンディショナーのRS485ポートの意味を参照してください。
Ezlogger ProのCOM「A」はパワーコンディショナーのRS485「A」に接続し、Ezlogger ProのCOM「B」はパワーコンディショナーのRS485「B」に接続する必要があることに注意してください。



- RS485通信ケーブルは、標準のRS485通信用シールドツイストペア線でなければなりません。
- パワーコンディショナーの通信ケーブルは、EzLogger ProのCOM1、COM2、COM3にのみ接続できます。
- EzLogger Proの単一のCOMポートは、最大20台のパワーコンディショナーをサポートします。3つのCOMポートはすべて、合計60台のパワーコンディショナーをサポートします。



通信ケーブルと端子台の接続の説明:

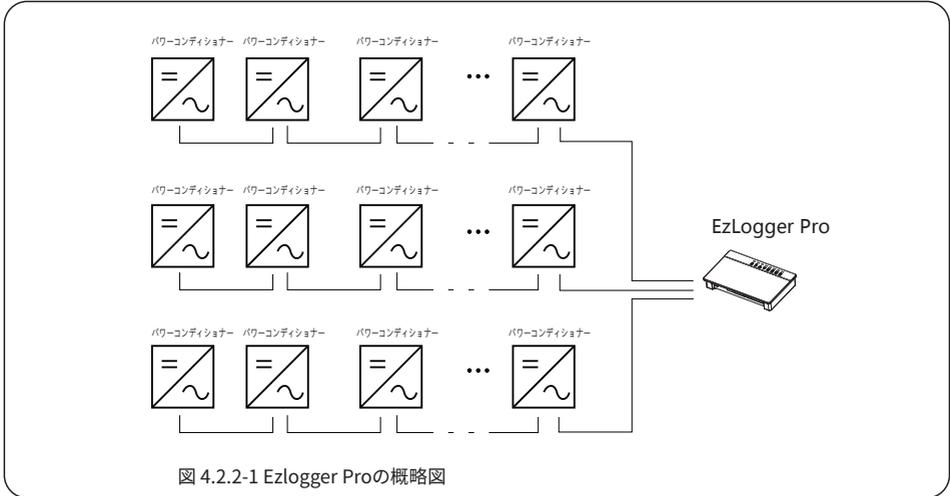
- まず、配線端子の対応する白いコンタクトシートを押したままにして、配線端子の弾性金属シートを跳ね上げます。
- ワイヤーコアの剥がした部分を端子に挿入します。
- 白いコンタクトシートを外して、ワイヤーコアを固定します。

4.2.2 複数のパワーコンディショナーへの接続



EzLogger Proを複数のパワーコンディショナーに接続する方法の概要

EzLogger Proを複数のパワーコンディショナーに接続する場合は、「手を繋ぐ」接続する方法を使用できます。各パワーコンディショナーには、2つの多重化RS485通信ポートがあります。パワーコンディショナーの1つのRS485ポートは、次のパワーコンディショナーの1つのRS485ポートに接続する必要があります。ポートAはポートAに対応し、ポートBはポートBに対応することに注意してください。単一のCOMポートに接続されるパワーコンディショナーの数は20を超えてはなりません。



4.3 環境モニターとメーターへの接続



介绍EzLogger Pro如何与环境监测仪、电表、出力制御连接。

EEzLogger Pro连接环境检测仪、电表或出力制御等设备需连接至COM4端口。COM4ポートの概略図を参照してください。

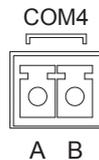


図 4.3-1 EzLogger ProのCOM4ポートの概略図

COM4の説明:

ポート	記号	説明
COM4	A	RS485A、RS485 差動信号 +
	B	RS485B、RS485 差動信号 -

ステップ:

1. 将通讯线一端连接到环境监测仪、电表或出力制御的RS485端口
2. 通信ケーブルの另一端をEzLogger ProのCOM4ポートに接続します。



请确保环境监测仪、电表或出力制御的RS485+连接到EzLogger Pro的COM4“A”；环境监测仪、电表和出力制御的RS485-连接到EzLogger Pro的COM4“B”。环境监测仪、电表和出力制御等设备仅可连接至COM4。

4.4 PCへの接続



EzLogger ProをPCに接続する方法の概要

ステップ:

1. ネットワークケーブルの一端をEzLogger Proの「NET」ポートに挿入します。
2. ケーブルの另一端をPCのイーサネットポートに挿入します。



PCに接続するときは、ProMate試運転ソフトウェアを使用する必要があります。ProMateソフトウェアの設定については、5.1を参照してください。

4.5 DREDへの接続



DREDの機能の概要

オーストラリアの安全規制によると、電力網会社はDREDを使用して、乾式接触伝送用に電力網スケジューリング信号を変換します。発電所は、電力網のスケジューリング信号を受信するために、乾式接触通信方式を使用する必要があります。

EzLogger Proは、同じポートを使用してDREDまたはリップルコントロールレシーバーに接続されます。DRED機能を使用する場合、ポートは次のように定義されます。

DIポート	説明
REF1	RefGen
1	DRM1/5
2	DRM2/6
3	DRM3/7
4	DRM4/8
REF2	Com/DRM0

EzLogger ProをDREDに接続する場合は、端子接続方式を使用します。

ステップ:

- 適切な長さのケーブルを選択し、ケーブルの一端をDREDに接続します。
- ケーブルのもう一端をEzLogger ProのDIポートに接続します。ポートの定義に注意してください。接続の詳細については、4.2.1「パワーコンディショナーのRS485通信の接続方法」を参照してください。

5.2 EzLogger Proの設定



ProMateを使用してEzLoggerProを設定する方法の概要

5.2.1 ProMateとEzLogger Proの接続

ProMateソフトウェアは、EzLogger Proの機能設定のために私たちによって起動されます。このソフトウェアを使用することにより、EzLogger ProのIPアドレスの変更、接続パワーコンディショナーのポート設定、時間設定、音と光のアラーム、RCR、DRED有効化設定、フィールドデバッグなどを実現できます。

まず、ユーザーは「ProMate」ソフトウェアをPCにインストールする必要があります。GoodWeの公式ウェブサイトにアクセスし、「ProMate」を検索してプログラムをダウンロードし、インストールを完了してください。

EzLogger Pro静的IPアドレスの設定方法:

ユーザーが静的IPを使用している場合は、EzLogger Proを静的IPモードに切り替える必要があります。リロードキーを約10秒間押し、EzLogger Proをリセットして再起動します。EzLogger ProのLEDが右から左に次々と点滅します。再起動後、EzLogger Proは静的IPモード(デフォルトIP: 192.168.1.200)に切り替わります。次に、PCのIPアドレスを変更します。WIN7を例にとると、手順は次のとおりです。ユーザーは、さまざまなPCシステムのIPアドレスを変更するために、インターネットで適切な方法を検索できます。

- (1) EzLogger Proを静的IPに切り替えます。次に、ケーブルを使用して、EzLogger Proの「NET」ポートをPCのイーサネットポートに接続します。
- (2) PCの電源を入れます。デスクトップの「Network」を右クリックし、「Properties」をクリックします。



図 5.2-1 ネットワーク接続ウィンドウを開く

(3) 「Change adapter settings」をクリックします。

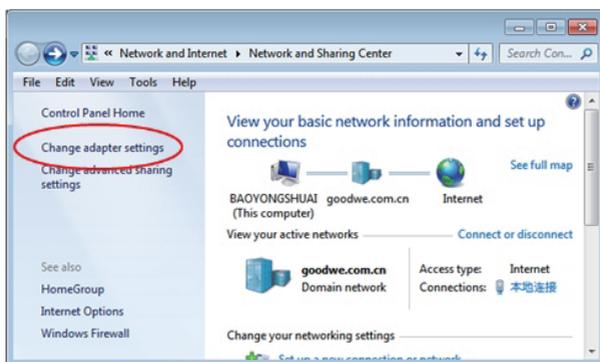


図 5.2-2 アダプタ設定の変更

(4) ローカル接続ダイアログボックスをポップアップします。「Local Connection」を右クリックし、「Properties」をクリックします。

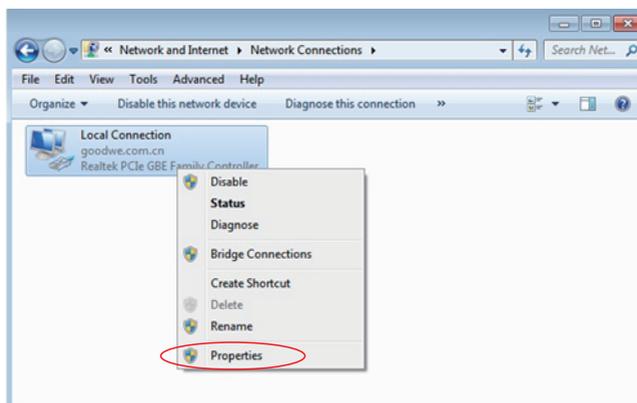


図 5.2-3 ローカル接続のプロパティの変更

以下に示すようなダイアログボックスをポップアップします。

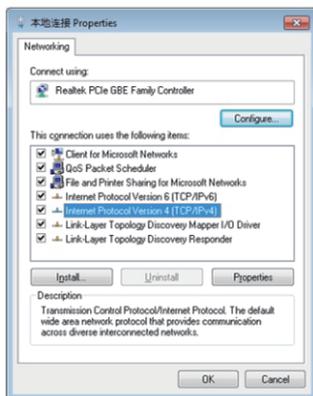


図 5.2-4 インターネットプロトコル4 (TCP/IPv4) の変更

- (5) 「Internet Protocol4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックして、「Internet Protocol4 (TCP/IPv4)」の「Properties」ダイアログボックスを表示します。次に、以下の要件に従って、ダイアログボックスの設定を完了します。

EzLogger ProのデフォルトのIPアドレスは192.168.1.200です。PCとEzLogger Proを同じネットワークセグメントに配置するには、IPアドレスとデフォルトゲートウェイを192.168.1.XXXネットワークセグメント ($1 \leq XXX \leq 250$ and $XXX \neq 200$) に設定する必要があります。

例：

ユーザーは、IPアドレスを192.168.1.100に設定し、デフォルトゲートウェイを192.168.1.254に設定できます。

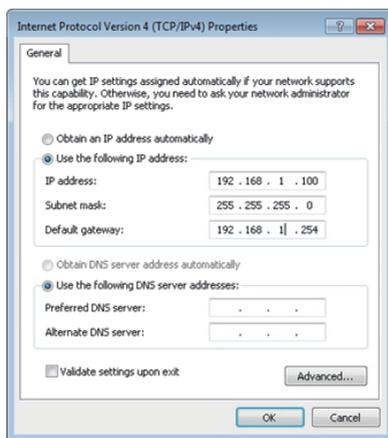


図 5.2-5 IPアドレスの変更

ProMateの「Connect」ボタンをクリックして、ProMateをEzLogger Proに接続します。図5.2-6に示すように、システムは「The connection is successful」と表示します。



図 5.2-6 静的IPを使用したProMateソフトウェアとEzLogger Pro間の接続

(6) EzLogger ProのIPアドレスの変更。

ユーザーは、ProMateソフトウェアをEzLogger Proに接続した後、必要な設定を採用できます。

静的IPモードでは、ユーザーはIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNSを設定して、必要に応じてインターネットへのアクセスを確立できます。図5.2-8を参照してください。

例：

ユーザーのIPアドレス 192.168.1.101 ユーザーのゲートウェイ 192.168.1.254
 ユーザーのサブネットマスク 255.255.255.0 ユーザーのDNS 208.67.222.222

上記のデータをLAN設定にロードします。次に、「Set」ボタンをクリックして設定を完了します。これで、EzLogger ProのIPアドレスがユーザーの要求に応じて変更されました。設定が完了すると、EzLogger ProとProMate間の物理的な接続を切断できます。その後、イーサネットケーブルをEzLogger Proに接続するだけでインターネットを利用できるようになります。



図 5.2-7 LAN設定の変更

- (7) 設定が完了したら、ユーザーはPCのイーサネットポートに接続されているネットケーブルを引き出して、ルーターに挿入できます。同時に、ユーザーはPCのIPアドレスおよびその他のパラメーターをデフォルト設定に復元する必要があります。EzLogger Proを元に戻して動的IPを使用するには、RELOADボタンを約4秒間長押ししてください。左から右に点滅するLEDは、EzLogger Proが再起動していることを示します。その後、動的IPが正常に設定されます。

5.2.2 パワーコンディショナーの通信ポートの接続数量設定

端子設定は、EzLogger ProのポートCOM1、COM2、COM3に接続するパワーコンディショナーの数を設定するために使用されます。ポート1(対応する通信ポートCOM1)が7台のパワーコンディショナーに接続できる場合は、ポート1の数量設定が7であるか確認してください。「Set」ボタンをクリックして設定を終了してください。図5.2-8を参照してください。



図 5.2-8 パラメータ設定

実際に接続されているパワーコンディショナーの数に応じて、各ポートの装置数を設定してください。設定が完了すると、ユーザーはEzLogger ProのLEDインジケータを介してパワーコンディショナーの実際の通信状態を確認できます(2.3 LEDインジケータを参照)。

5.2.3 時間設定

時間設定は、同期サーバーの時間に従って、EzLogger Proとパワーコンディショナーの時間を同期します。次の図に示すように、[Set Time]をクリックして次のダイアログボックスをポップアップします。次に、図5.2-9および図5.2-10に示すように、時間を設定した後、[OK]をクリックします。



図 5.2-9 時間設定

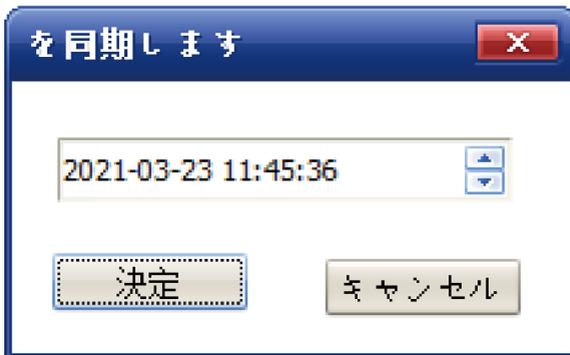


図 5.2-10 時間設定のダイアログボックス

5.2.4 出力制御を設定する

出力制御を設置することにより、EzloggerProと出力制御設備との間に通信連結させることができる。EzloggerProが出力制御設備から出す指令を受けてからインバーターに指令する。出力制御設備の設置に関して、Field LogicのDataCube3の設置方法をご参考ください。下記アドレスまでご参考ください: <http://www.f-logic.jp/service/measurement/datacube3.html#spec>。



図 5.2-11 出力制御を設定する

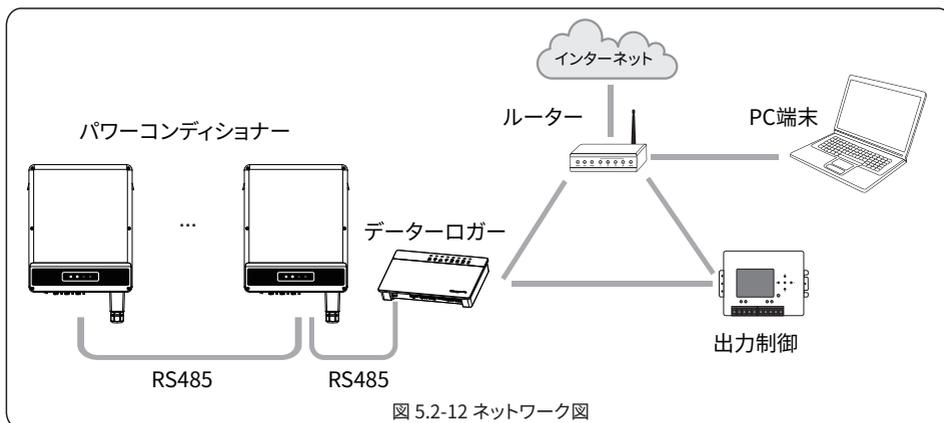


図 5.2-12 ネットワーク図



インバーターはEzloggerProのCOM1-3口への繋がりだけサポートする、出力制御設備はEzloggerProのCOM4口への繋がりだけサポートする
EzloggerProはField LogicのDataCube3型出力制御設備だけサポートする。

5.2.5 フィールドデバッグ

ProMateは、フィールドインストールとデバッグにも適用できます。インストールが完了したら、「Refresh」をクリックして、パワーコンディショナーがオンラインかどうかを確認します。システムから「off line」のプロンプトが表示された場合は、接続ケーブルに問題がないか確認してください。次に、システムがすべてのパワーコンディショナーが「on line」であることを示すまで、問題をタイムリーに解決します。図5.2-13に示すように、通信速度の問題により、パワーコンディショナーの状態が取得されるまでに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。



図 5.2-13 パワーコンディショナーの状態の取得

5.3 プログラムのアップグレード



EzLogger Proのローカルおよびリモートアップグレード方法の概要。

5.3.1 EzLogger Proのアップグレード

- (1) ローカルアップグレード: アップグレードに必要なbinファイルをUSBスティックのルートディレクトリにコピーします (USB 2.0ポートとFAT32形式を使用してください)。USBスティックをEzLogger ProのUSBポートに挿入します。プログラムの自動更新を有効にするために、EzLogger Proへの電力を遮断してから電源を再投入します。



プログラムアップグレード用のbinファイルの名前は「EzLoggerPro_new.bin」です。binファイルはEメールでクライアントに送信されます。クライアントは、受信したbinファイルをUSBスティックのルートディレクトリに保存し、ファイル名が「EzLoggerPro_new.bin」であるかどうかを確認する必要があります。そうでない場合は、この名前に変更してください。変更しないと、ファイル名が異なるとプログラムのアップグレードに失敗します。プログラムのアップグレードプロセス中にEzLogger Proの8つのインジケータライトがすべて点灯している場合は、プログラムがアップグレード中であることを示しています。プログラムのアップグレードが完了すると、インジケータライトは通常の状態に戻ります。プログラムのアップグレードプロセス中に電気を切らないでください。

- (2) リモートアップグレード: EzLogger Proの自動チェックと更新を可能にするために、アップグレードプログラムはバックグラウンドでGOODWEによってサーバーにアップロードされます。

6.1 新しいユーザーの登録及び発電所の追加

ステップ3: 一つのEzLogger Proを発電所に追加する。「管理>発電所」をクリックして、該当発電所を選択し、「機器管理」をクリックする。



図6.1-2 設備を追加する

6.2 発電所の確認

監視プラットフォームに設備を追加した後、SEMSポータルで発電状況と機器情報を確認してください。

ステップ1: <https://www.semsportal.com/Home/Login>を入力し、管理者、インストーラーあるいはゲストアカウントを使ってログインする。Step 2: Click the plant name as figure 6.2-1 below.

ステップ2: 下の図6.2-1のようにプラントの名前をクリックする。



図 6.1-2 発電所の確認

ステップ3: 発電所の詳しい情報を確認する。

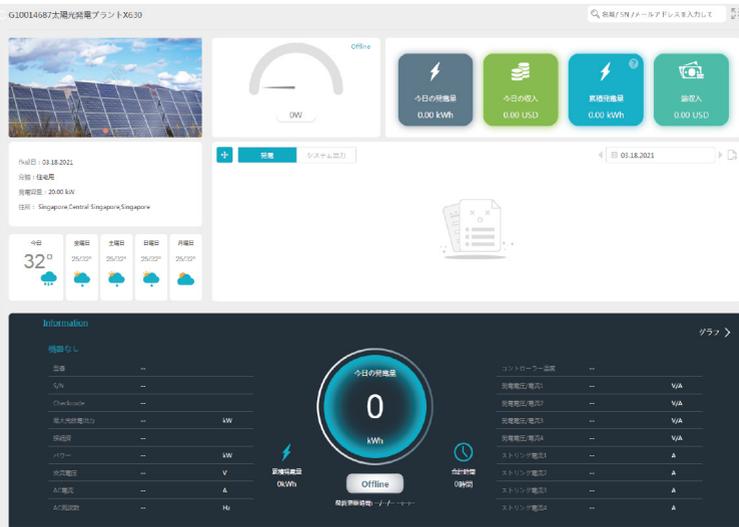


図 6.1-3 発電所の情報

第7章:技術仕様



EzLogger Proの技術仕様の概要

通信管理

通信	パワーコンディショナーの通信	3 x RS485
	PC通信	10/100Mイーサネット
管理対象装置の数	RS485	60 (1つのRS485ポートに接続される装置の数は20を超えてはなりません)
通信距離	RS485	1000m (シールドツイストペア線を使用します)
	イーサネット	100m

一般的なパラメータ

一般 パラメータ	電源アダプタ	入力:100 ~ 240Vac、50/60Hz、出力:12Vdc 1.5A
	消費電力	一般3W、最大6W
	ストレージ容量	16MB (オプションのSDカードで8GBまで拡張可能)
	寸法 (L x W x H)	190 x 118 x 37mm
	重量	500g
	温度範囲	-20°C ~ +60°C
	相対湿度 (結露なし)	5% ~ 95%
	IPコード	IP20
	設置方法	壁付け、卓上設置、レール付け
	ディスプレイ	8つのLEDインジケータ

第8章: 認証と保証

8.1 認証マーク



8.2 保証書

ユーザーは、製品保証期間中、製品保証カードと購入請求書を適切に保管する必要があります。さらに、製品の銘板も摩損しなくはっきり見える必要があります。それ以外の場合、GoodWeは品質保証の提供を拒否する権利があります。

8.3 保証条件

GoodWeユーザーマニュアルに従って製品が適切に使用されていることを前提として、品質上の問題により保証期間内に製品の故障が発生した場合、GoodWeは実際の状況に応じて次の3つの保証方法を提供します。

1. 不良品を工場に返送し修理する。
2. オンサイトメンテナンス。
3. 製品の交換 (製造中止製品の場合、同等の価値の製品と交換することができます)。

8.4 免責事項

次の状況は保証の対象外です。

1. 製品または部品が保証期間を超えています (両当事者が保証サービスの延長に関する契約に署名した場合を除く)。製品マニュアルまたは関連する設置および保守要件に違反する操作、不適切な操作環境、不適切な保管、誤用などに起因する障害または損傷。
2. 換気不足による損傷。GoodWeまたはGoodWeが指定する代理人および担当者以外の者による設置、修理、変更、または分解によって生じた故障または損傷。
3. 予期せぬ要因、人為的要因、不可抗力などの理由による故障または損傷、およびGoodWe製品の品質問題以外のその他の故障または損傷。



固德威公式
サイト

GoodWe Technologies Co., Ltd.

 No. 90 Zijin Rd., New District, Suzhou, 215011, China

 www.goodwe.com

 service@goodwe.com



340-00516-01



連絡先